

読むと嘉楽のまちが♡好き♡になる

か ら く が つ く

嘉楽学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



嘉楽学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、嘉楽社会福祉協議会 喜多 泰弘 会長・加藤 克昌 相談役に、
コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



言えます。空洞が生まれると、困りごとや災害が起きた時に周りの住人さんが困ってしまいます。防犯声掛けを通して、地域とゲストハウスが「顔の見える関係」になることを目指しています。

嘉楽学区の小学校区は3つに分かれています。どうしても学校ごとのまとまりになってしまい、活動しにくい部分があるので、隣接学区とも協力できるところは協力していきたいです。

わたしたちの学区の真ん中に、商店街があります。商店街は、買いに来られた方と店員がコミュニケーションして、困りごとをお聞きしたりアドバイスしたりできます。

コロナ禍でわたしたちは、人と会うことの大切さ・心強さを実感しました。オンラインでの買い物が盛んになってきましたが、学区内に、人が集まれる商店街があることを、わたしたちは「強み」だと思っています。

「これからのまちづくり活動はどうなるのだろうか？」と、一緒に考えて、一緒にアイデアを出してほしいです。住民さんもそうだし、行政や社協もそう。どんどん若い人にもリーダーになってほしいですね。持続可能な形で、みんなに出番がある形で、まちづくり活動をしていきたいです。

◎コロナ禍中のまちづくり活動について

コロナ禍で、まちづくり活動を見合わせてきたこともあり、学区内コミュニケーションが減っています。担い手さんたちも「これでええんやろか…」と歯がゆい思いをされています。

令和3年度に向け、「with コロナ」でまちづくり活動を考えたいですね。若い人にも活躍できる場を提供したいです。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

大切にしたいことは「人にやさしい取り組みを増やしたい」「いろんな人を巻き込んで防災をしたい」です。

居場所活動に力を入れたいのですが、嘉楽会館で開催しようとする2階になってしまうので、工夫が必要です。

今もまだステイホームの影響で、テレビを見て過ごされている方が多い。やはり顔と顔を合わせることで、心も体も健康になれるですね。

まちづくり活動も防災の取組みも、高齢の方や障害がある方といった災害時要配慮の方を意識しながら、真剣に取り組んでいきたいです。

特に、学区と学区内の福祉施設がお互いに支え合うことができたらと思っています。次年度には具体的に動きたいですね。

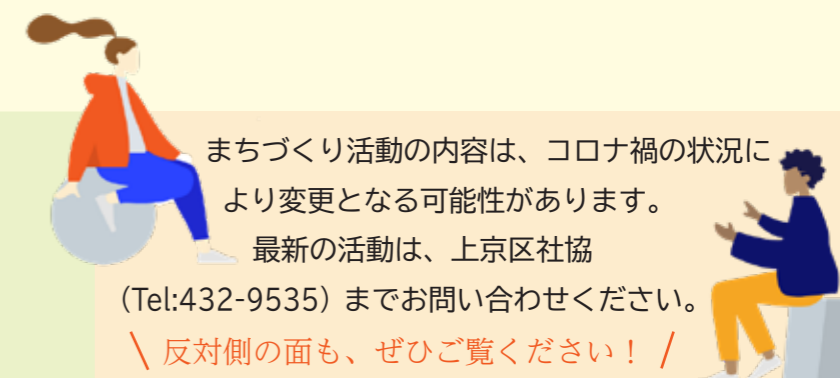
また、ゲストハウスへの防犯声掛けを行っています。ゲストハウスは空き家と同じく、決まった人が常に住んでいないため「まちの空洞」であるとも



コロナ禍前に行われていた、様々なまちづくり活動の様子。



嘉楽学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！